

**CRESCO** 

第34期 事業報告書

**クレスコレポート**

2021年4月1日 > 2022年3月31日

# 会社ロゴが変わりました

2022年4月から「第2創業期」へ…

# CRESCO

デザインコンセプト

## Challenger wildcard

モチーフ

一般的にワイルドカード記号として用いられる「\*」

カラー

- アドバンス・オレンジ… 力強い前進
- トラスト・ブラック…… 確かな信頼

あらゆる対象にマッチするワイルドカードのように  
枠にとらわれない考え方や開発に挑戦し  
社会を前進・成長させる姿勢を持ち続けます

## 株主のみなさまへ

### 当期の経営方針と課題

クレスコグループは、10ヶ年の経営ビジョン『CRESCO Group Ambition 2030』と3つの中期経営計画(2021～2023年度、2024～2026年度、2027～2030年度)に沿って、「最高のテクノロジーと絆で“わくわくする未来”を創造」する企業グループを目指しています。

当期は、経営ビジョンの具現化に向けた第1ステップとなる『中期経営計画2023(2021～2023年度)』の初年度として、コアビジネス領域(ITサービス)推進のための「基本戦略」と、新たなビジネス(デジタルソリューション)の柱を生み出すための「重点戦略」の実行を通じて、業績目標の達成はもとより、機動的な経営基盤の確立と人間中心経営の実践に励み、企業価値を一層高めるべく、事業を展開しました。

#### 当期の課題

- ・新規顧客の獲得およびお客様とのリレーションシップの強化
- ・デジタルソリューションビジネスの拡大と新技術の研究・開発
- ・M&A・アライアンスの推進とグループ企業に対する管理の強化
- ・人材採用と育成環境の拡充
- ・DX推進と機動的経営の実現
- ・健康経営の推進
- ・働き方改革の推進と健全な労働環境づくり
- ・品質の強化
- ・生産性の追求
- ・開発に従事する人材の確保と体制強化
- ・ダイバーシティへの取組み
- ・コーポレート・ガバナンスの推進
- ・事業ポートフォリオの最適化と柔軟な組織経営

### 当期の経営環境と業績

当期は新型コロナウイルス禍の中、幅広い業界で景況感が改善し、企業のIT戦略の遂行は、「デジタル変革(DX)の潮流」を背景に加速しました。また、経済活動の正常化に向けた動きも活発な状況が継続し、当期の業績は増収増益となりました。

クレスコグループは『中期経営計画2023』を軸に、「環境の変化に即した顧客ポートフォリオおよび事業体制の見直し」「既存顧客を中心とした受注量の確保」「先端技術(AI・クラウド分野等)を取込んだ新規事業・サービスの開発」に注力し、「社内DXの推進(テレワーク体制の強化、オンラインコミュニケーションツールの活用、デジタルマー

ケティングの強化)」「オフィススペースの最適化」など、攻めの施策を  
実行しました。

また、エバンジェリスト活動の一環として、AI・クラウド・RPA(ロボ  
ティック・プロセス・オートメーション)関連の社外向けセミナーや各  
種イベントでの講演など、様々なプロモーションを実施しました。

## 来期の見通し

来期の事業環境は、新型コロナウイルスの新たな変異株の発生や流  
行に起因する景気の下振れリスクが依然拭い切れず、加えて、ロシア・  
ウクライナ紛争に起因する原材料価格の高騰や原油などの供給悪化  
が、物価や景気を大きく左右する懸念が高まっているため、先行きの  
見通しは、決して楽観的にはなれない状況です。しかしながら、地域や  
業種・業態で違いはあるものの、ウィズコロナ・アフターコロナを踏ま  
えた「新しい生活様式」や「ニューノーマル(新常态)」が定着し、経済活  
動の正常化に向けた動きは活発な状況が続いています。ITを活用した  
デジタル変革の流れに歯止めがかかる可能性は低く、「クレスコグ  
ループへの業績への影響は限定的」と判断しています。

クレスコグループが提供する多彩なサービスや各種ソリューション  
は、「デジタル変革」の潮流を概ね取込めるポジションにあり、お客  
様から「ITのメインパートナー」として期待されています。高度化、多  
様化、複雑化するニーズを積極的に取込み、そして、自らも競争優位性  
を確保するイノベーションを実現し、社会の発展に貢献する所存です。  
また、長年培ってきたコア技術と経験を活かし、グループ間の協業や  
他社とのアライアンスを積極的に展開して、お客様の「デジタル変革」  
をリードする新規性と利便性を備えたITサービスやデジタルソ  
リューションを提供いたします。



社会や企業デジタル化、デジタル変革(DX)の本格的な到来により、  
情報サービス産業全体の構造改革、イノベーションが求められています。

クレスコグループは、激変する経営環境の中、  
持続的な成長と企業価値向上を目指し、  
2021年4月から10年間の長期ビジョン

『CRESCO Group Ambition 2030』をスタートしました。

また、当該ビジョンの具現化に向け、  
最初のステップとして『中期経営計画2023』を設定しました。

## 2030年度に向けた10ヶ年の経営ビジョン

CRESCO Group Ambition 2030

# 人が思い描く未来、その先へ

クレスコグループは最高のテクノロジーと絆で“わくわくする未来”を創造します



グループビジョンの詳細

<https://www.cresco.co.jp/corpinfo/vision/>



## 「中期経営計画2023」の経営目標

連結 売上高  
**500**億円

連結 営業利益  
**50**億円

ROE  
**15%**以上

中期経営計画の詳細

<https://www.cresco.co.jp/ir/plan.html>



## 代表者2名の新体制

2022年4月1日付けで当社の代表者は、2名体制に変わりました。

### 代表取締役会長 根元 浩幸 (ねもと ひろゆき)

旧役職：代表取締役 社長執行役員

### 代表取締役 社長執行役員 富永 宏 (とみなが ひろし)

旧役職：取締役 専務執行役員  
サービスコンピテンシー統括本部長  
兼 技術研究所、品質管理本部管掌

2021年度からスタートした『CRESCO Group Ambition 2030』  
『中期経営計画2023』を迅速に推し進めるために、経営体制の一層の強化を図り、さらなる成長と企業価値向上を目指すことを目的としています。

代表者の経歴

<https://www.cresco.co.jp/ir/officer/officer1.html>



## 子会社「クリエイティブジャパン」の社名変更

2022年5月1日付けで子会社「クリエイティブジャパン」は、「クレスコ・デジタルテクノロジーズ」に社名を変更しました。

クレスコのロゴ変更に伴い、クレスコグループの企業イメージを統一し、グループ経営における相乗効果の創出や「One Cresco」体制を促進するグループ戦略の一環です。子会社の社名の冒頭に「クレスコ」を入れてグループの一員であることを明確にし、続けて主要事業の総称を入れることで、得意領域を対外的に明示してお客様へ強くアピールすることが狙いです。



## 「健康経営優良法人2022」に認定

当社は、経済産業省が創設した「健康経営優良法人制度」において、日本健康会議により「健康経営優良法人2022(大規模法人部門)」に認定されました。同制度は、地域の健康課題に即した取組みや日本健康会議が進める健康増進の取組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。「健康経営優良法人」に認定されると、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として社会的な評価を受けられます。

当社では、社員が心身ともに健康で、自己の能力・実力を最大限に発揮することが、お客様や社会、ひいては当社の成長につながるとの考えのもと、健康保持・増進を図る取組みを実施しています。

## 子会社3社を再編

2022年7月1日付けで子会社「アルス」は、「エヌシステム」[ネクサス]を吸収合併し、社名を変更(「クレスコ・ジェイキューブ」の予定)します。

今後想定される経営環境の変化や競争関係の激化に対応するために、3社のノウハウおよび人材・経営資源の統合を図るとともに、人材・経営資源を有効活用して、大規模プロジェクトへの対応・新サービスを提供することで、ビジネス拡大を推進し、業界におけるクレスコグループの競争優位性の維持・向上を図ることを目的としています。

## 大学との共同研究

当社は、2021年12月から名古屋大学 大学院情報学研究所 附属組込みシステム研究センター様と、組込みセキュリティの技術と脆弱性攻撃の評価に関する共同研究を開始しました。

セキュリティ技術の最新動向の収集や、外部ネットワーク活用時の「脅威」を想定した仮想環境を構築し、脆弱性攻撃に対するセキュリティの研究を行います。

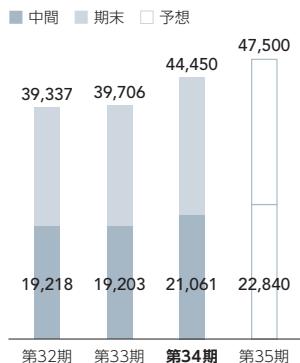
# 連結業績ハイライト

## 決算のポイント

- 前年同期比、売上高11.9%増、営業利益27.9%増、経常利益16.6%増、純利益22.9%増の増収増益。
- ITサービス事業：「エンタープライズ」は、「人材紹介・人材派遣」「運輸」「建設・不動産」「旅行・ホテル」で受注回復。「金融」は、「保険」で大型案件受注、「その他」で証券・クレジットカード等のIT投資拡大。「製造」は、「自動車・輸送機器」の売上高が新型

- コロナウイルス禍に伴う半導体不足で前年同期とほぼ同水準、「機械・エレクトロニクス」で先行投資目的の案件が増加。全てのサブセグメントで、新規連結した「(株) OEC」が業績に寄与。
- デジタルソリューション事業：クラウドサービス「Creage (クレアージュ)」やRPAライセンスの販売が増加、子会社で大型ソリューション案件を受注。

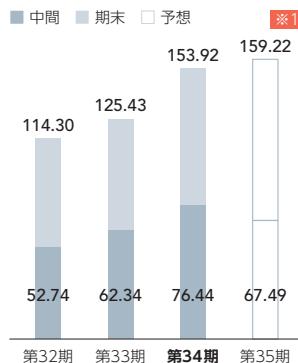
### 売上高 444億50百万円



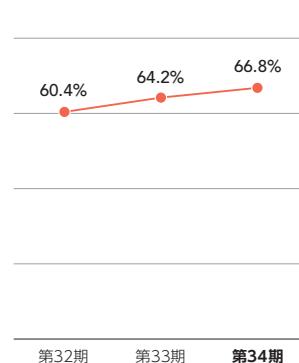
### 営業利益・営業利益率 44億57百万円



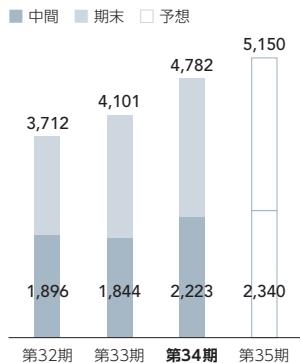
### 1株当たり純利益 153.92円



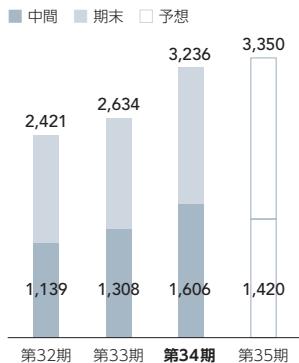
### 自己資本比率 66.8%



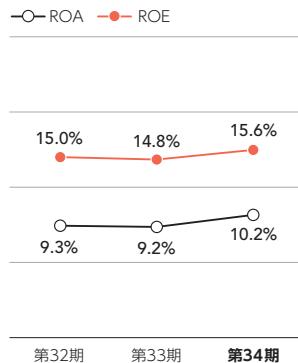
### 経常利益 47億82百万円



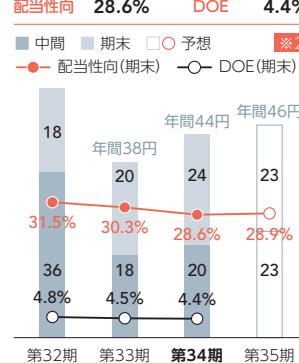
### 純利益 (親会社株主に帰属) 32億36百万円



### ROA 10.2% ROE 15.6%



### 1株当たり配当金 期末 24円



※1 2020年2月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。第32期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して、「1株当たり純利益」を算定しております。

※2 2020年2月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。第32期中間は分割前の実際の配当金の額を記載しております。第32期の合計は、株式分割の実施により単純計算ができないため記載しておりません。

# 連結セグメント別概況

当期から、報告セグメントが変わりました。

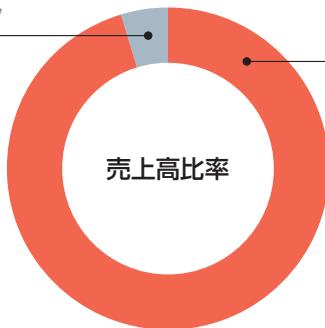
報告セグメントの変更に関するお知らせ

[https://www.cresco.co.jp/news/newsr/2021/210510\\_jr.pdf](https://www.cresco.co.jp/news/newsr/2021/210510_jr.pdf)



デジタル  
ソリューション

4.7%



ITサービス

95.3%

エンタープライズ

41.0%

金融

30.8%

製造

23.5%

セグメント	事業	サブセグメント
ITサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンサルティング</li> <li>IT企画</li> <li>開発・保守の総合サービス</li> </ul>	<b>エンタープライズ</b> (情報・通信、広告、流通サービス、運輸、人材紹介・人材派遣、公共、資源・エネルギー、建設・不動産、旅行・ホテル、医療・ヘルスケア、その他)
		<b>金融</b> (銀行、保険、その他)
		<b>製造</b> (自動車、輸送機器、機械、エレクトロニクス、その他)
デジタルソリューション	顧客のDX実現を支援する製品・サービスからなるソリューション群	[Creage]、 「インテリジェントフォルダ」、 RPA 等

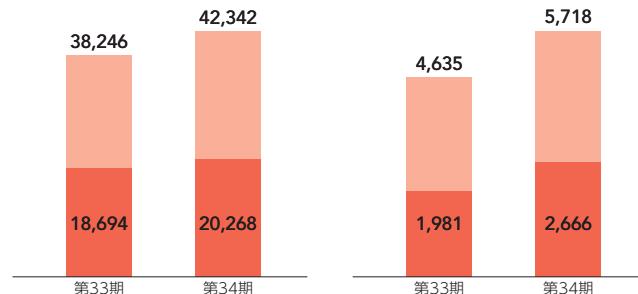
## 配当方針

当社は、株主のみなさまに対する利益還元を経営の重要課題と位置付けており、株主資本の充実と長期的な安定収益力を維持するとともに、業績に裏付けられた適正な利益配分を継続することを基本方針としております。配当に関しましては、原則、連結の経常利益をもとに特別損益を零(ゼロ)とした場合に算出される親会社に帰属する当期純利益の30%相当を目途に、継続的に実現することを目指してまいります。

## ITサービス

■ 中間 ■ 期末 (百万円)

売上高 **423億42百万円** 利益 **57億18百万円**



## サブセグメント別売上高

エンタープライズ

金融

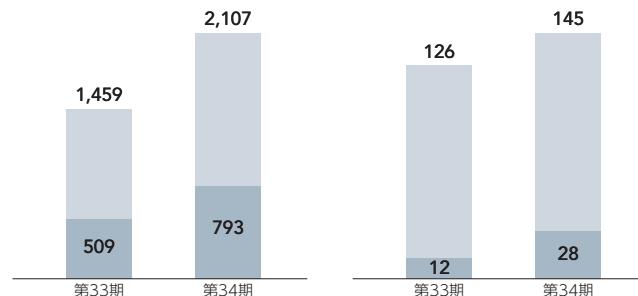
製造



## デジタルソリューション

■ 中間 ■ 期末 (百万円)

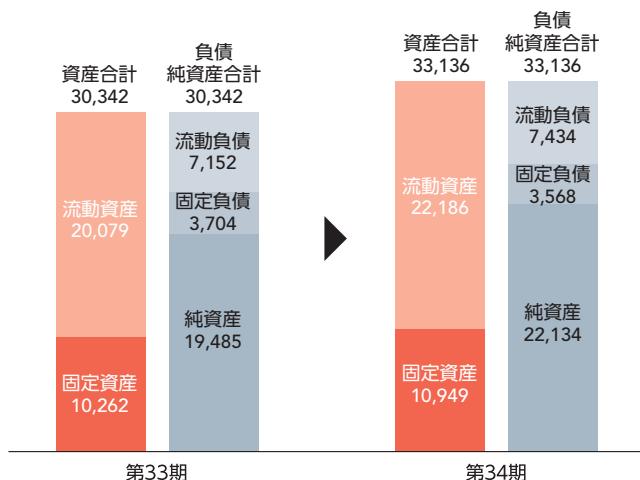
売上高 **21億7百万円** 利益 **1億45百万円**



# 連結財務概況

## 貸借対照表の概要

(単位:百万円)



■ 流動資産 前年度末比 **21億7百万円** ↑

現金および預金が8億6百万円、受取手形、売掛金および契約資産が6億83百万円、有価証券が4億97百万円、前払費用が60百万円、仕掛品が45百万円それぞれ増加したことにより、前連結会計年度末に比べて21億7百万円増加し、221億86百万円となりました。

■ 固定資産 前年度末比 **6億87百万円** ↑

投資有価証券が2億37百万円、ソフトウェアが73百万円、繰延税金資産が37百万円それぞれ減少したものの、のれんが10億34百万円増加したことにより、前連結会計年度末に比べて6億87百万円増加し、109億49百万円となりました。

■ 流動負債 前年度末比 **2億81百万円** ↑

未払法人税等が1億20百万円減少したものの、買掛金が2億55百万円、賞与引当金が1億42百万円それぞれ増加したことにより、前連結会計年度末に比べて2億81百万円増加し、74億34百万円となりました。

■ 固定負債 前年度末比 **1億35百万円** ↓

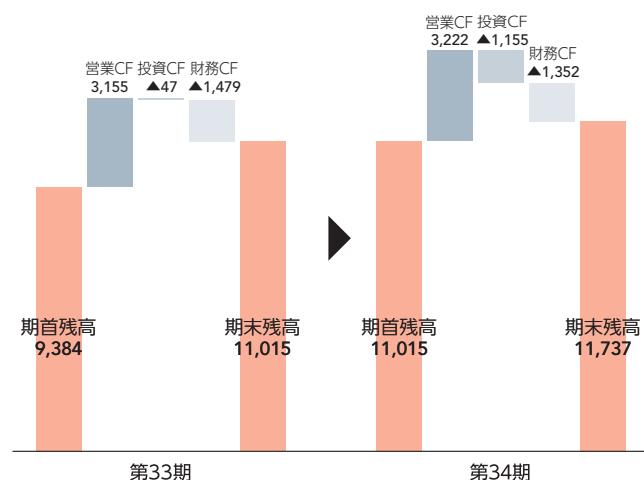
退職給付に係る負債が2億3百万円増加したものの、長期借入金が3億22百万円、資産除去債務が17百万円それぞれ減少したことにより、前連結会計年度末に比べて1億35百万円減少し、35億68百万円となりました。

■ 純資産合計 前年度末比 **26億48百万円** ↑

利益剰余金が23億77百万円、その他有価証券評価差額金が1億97百万円それぞれ増加し、自己株式が23百万円減少したことにより、前連結会計年度末に比べて26億48百万円増加し、221億34百万円となりました。

## キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

法人税等の支払額が17億42百万円あったものの、税金等調整前当期純利益が48億79百万円あったことにより、32億22百万円の収入(前年度31億55百万円の収入)となりました。

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資有価証券の償還による収入が43億73百万円、投資有価証券の売却による収入が9億48百万円、有価証券の売却による収入が3億85百万円あったものの、投資有価証券の取得による支出が49億94百万円、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が11億68百万円、有価証券の取得による支出が5億53百万円あったことにより、11億55百万円の支出(前年度47百万円の支出)となりました。

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入れによる収入が3億60百万円あったものの、配当金の支払額が8億40百万円、長期借入金の返済による支出が8億9百万円あったことにより、13億52百万円の支出(前年度14億79百万円の支出)となりました。



### ホームページのご案内

最新のIR情報や財務データ、決算関連資料を掲載しております。ぜひ、ご利用ください。



<https://www.cresco.co.jp/>

# 役員紹介

## 取締役



代表取締役会長  
**根元 浩幸** Hiroyuki Nemoto  
1960年2月12日生



代表取締役 社長執行役員  
**富永 宏** Hiroshi Tominaga  
1967年1月9日生



取締役 専務執行役員  
管理部門管掌  
**杉山 和男** Kazuo Sugiyama  
1964年9月1日生



取締役 専務執行役員  
事業部門管掌  
**粉川 徳幸** Noriyuki Kogawa  
1963年11月24日生

## 取締役 監査等委員



取締役 常勤監査等委員  
**高石 哲** Satoshi Takaiishi  
1962年5月26日生

## 報酬委員会

委員長 **福井 順一**

委員 **佐藤 幸恵 根元 浩幸 佐藤 治夫**

## 執行役員

常務執行役員  
エンタープライズビジネス本部長  
**平野 健一** Kenichi Hirano  
1972年3月13日生

常務執行役員  
インダストリアルビジネス本部長  
**寺村 孝幸** Takayuki Teramura  
1970年12月10日生

常務執行役員  
ソリューション&サービスインノベーション本部長  
兼 営業統括部管掌  
**岩見 聡** Satoshi Iwami  
1964年7月6日生

執行役員  
金融ビジネス本部長  
**久保 和隆** Kazutaka Kubo  
1964年5月18日生

執行役員  
経営戦略統括本部長  
**元木 隆博** Takahiro Motoki  
1969年5月22日生

執行役員  
ビジネスイノベーションサービス本部長  
兼 技術研究所管掌  
**高津 聡** Satoshi Takatsu  
1975年8月19日生

## 社外取締役



社外取締役  
**福井 順一** Junichi Fukui  
1953年11月5日生

企業経営に関する幅広い知識と見識を有するほか、経営企画、広報等に関する豊富な経験と実績を有しています。



社外取締役  
**佐藤 幸恵** Yukie Sato  
1965年6月30日生

エグゼクティブコンサルティングの豊富な経験と実績を有するとともに、企業経営者として、経営全般に関する幅広い知識と見識を有しています。

## 社外取締役 監査等委員



社外取締役 監査等委員  
**佐藤 治夫** Haruo Sato  
1956年11月27日生

企業経営に関する幅広い知識と見識を有するほか、情報システムコンサルティングならびに情報システムの企画、設計および開発等に関する豊富な経験と知見を有しています。



社外取締役 監査等委員  
**前川 昌之** Masayuki Maekawa  
1965年3月30日生

公認会計士として財務、M&A、会計および税務に精通し、企業経営を統治する十分な見識を有しています。

(2022年6月17日現在)



A CRESCO COMPANY 

**株式会社アイオス**  
<https://www.ios-net.co.jp/>  
 子会社化：2010年4月  
 議決権所有割合：100.0%



A CRESCO COMPANY 

**アルス株式会社**  
<http://www.arsweb.co.jp/>  
 子会社化：2018年10月  
 議決権所有割合：100.0%



A CRESCO COMPANY 

**株式会社シースリー**  
<http://www.c3w.co.jp/>  
 子会社化：2012年12月  
 議決権所有割合：100.0%



A CRESCO COMPANY 

**株式会社ネクサス**  
<https://www.nexus21.co.jp/>  
 子会社化：2018年1月  
 議決権所有割合：100.0%



A CRESCO COMPANY 

**株式会社エニシアス**  
<https://www.enisias.com/>  
 子会社化：2020年4月  
 議決権所有割合：100.0%



A CRESCO COMPANY 

**株式会社エヌシステム**  
<https://www.n-system21.co.jp/>  
 子会社化：2016年9月  
 議決権所有割合：100.0%



A CRESCO COMPANY 

**株式会社メクゼス**  
<http://www.mexess.co.jp/>  
 子会社化：2015年10月  
 議決権所有割合：100.0%



A CRESCO COMPANY 

**株式会社OEC**  
<https://www.oec-ltd.co.jp/>  
 子会社化：2021年7月  
 議決権所有割合：100.0%



**クレスコ・イー・ソリューション株式会社**  
<https://www.cresco-es.co.jp/>  
 子会社化：1999年8月  
 議決権所有割合：100.0%



**株式会社ジザイめっけ**  
<https://zxy-meqqe.co.jp/>  
 持分法適用会社化：2020年4月  
 議決権所有割合：34.0%



**ピュルガーコンサルティング株式会社**  
<https://buerger-consulting.com/>  
 持分法適用会社化：2012年4月  
 議決権所有割合：33.4%



**株式会社クレスコ・デジタルテクノロジーズ**  
<https://www.creative-japan.co.jp/>  
 子会社化：2013年4月  
 議決権所有割合：100.0%



**CRESCO VIETNAM CO., LTD.**  
 (クレスコ ベトナム)  
<https://cresco-vn.com.vn/>  
 子会社化：2019年9月  
 議決権所有割合：100.0%



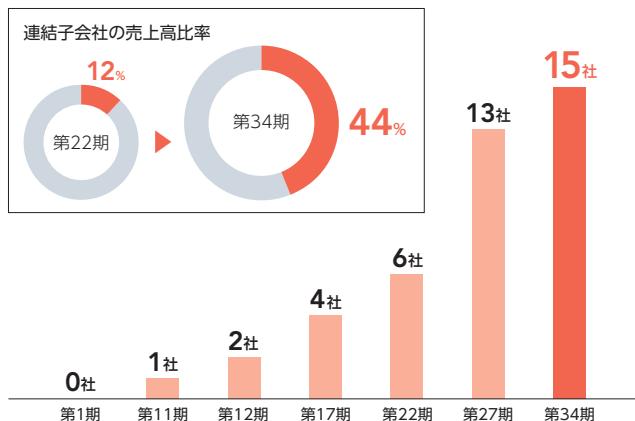
**クレスコ北陸株式会社**  
<http://www.cresco-hokuriku.jp/>  
 子会社化：2012年4月  
 議決権所有割合：100.0%



**クレスコ ワイヤレス株式会社**  
<https://wireless-t.jp/>  
 子会社化：2005年10月  
 議決権所有割合：100.0%

## グループ会社数の推移

(持分法適用会社も含む、本体は除く)



連結子会社……13社

持分法適用会社…2社

(2022年5月1日現在)

# 株式情報

## 株式の状況

(2022年3月31日現在)

発行可能株式総数	68,000,000株
発行済株式の総数	21,040,557株 (自己株式1,959,443株を除く)
株主数	3,226名

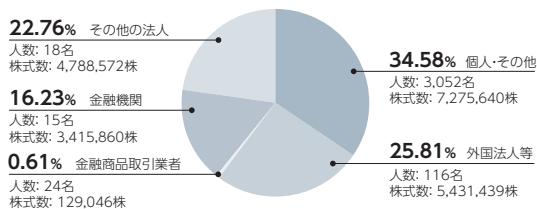
## 大株主

(2022年3月31日現在)

株主名	持株数(百株)	議決権比率(%)
有限会社イワサキコーポレーション	44,792	21.31
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	18,001	8.56
浦崎 雅博	12,554	5.97
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE HCR00	10,723	5.10
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	9,230	4.39
クレスコ従業員持株会	8,549	4.06
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	6,735	3.20
岩崎 俊雄	6,120	2.91
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OMO2 505002	5,354	2.45
田島 裕之	5,146	2.44

## 所有者別株式分布状況(自社保有分を除く)

(2022年3月31日現在)



## 株主メモ

(2022年3月31日現在)

事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当金受領株主確定日	中間:9月30日 期末:3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 [TEL] ☎ 0120-232-711 (通話料無料) [送付先] 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告 ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

### (ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

# 会社概要

(2022年4月1日現在)

商号	株式会社クレスコ
設立	1988年4月
資本金	25億1,487万5,803円
従業員数	連結: 2,638名(男性:1,998名 女性:640名 女性比率:24.3%) 単体: 1,369名(男性:1,024名 女性:345名 女性比率:25.2%)

所在地 ■ 本社  
〒108-6026 東京都港区港南2-15-1  
品川インターシティA棟 25階～27階  
TEL: 03-5769-8011 FAX: 03-5769-8019

■ 札幌事業所  
〒060-0003 北海道札幌市中央区北3条西3-1  
札幌北三条ビル 2階、3階  
TEL: 011-200-5550 FAX: 011-200-5665

■ 長岡事業所  
〒940-0071 新潟県長岡市表町1-11-1  
長岡フロントビル 4階  
TEL: 0258-30-0370 FAX: 0258-33-1771

■ 名古屋事業所  
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅2-38-2  
オーキッドビル 3階  
TEL: 052-589-9045 FAX: 052-589-9025

■ 大阪事業所  
〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町4-2-12  
野村不動産御堂筋本町ビル 2階  
TEL: 080-7739-8918

■ 福岡事業所  
〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1-7-22  
第14岡部ビル 7階  
TEL: 092-415-3540 FAX: 092-415-3541

事業内容	情報処理システムに関する ■ コンサルティングおよびソリューションサービス業務 ■ 設計、開発業務 ■ 運用管理、保守業務 ■ 調査、分析、評価および技術支援業務
------	---

## 社名の由来

企業活動の成長が世界の人々の幸福に可能な限り最大の貢献をすること、そして、そこに働く人々が共に喜びと誇りをもち、自己の能力を最高に発揮できることが企業の使命であると考え、ラテン語で「成長する」という意味を持つ「CRESCO」を社名としております。

## IRのお問合せ 広報部

Mail: ir@cresco.co.jp  
TEL: 03-5769-8058

UD  
FONT

VEGETABLE  
OIL INK

東京証券取引所 プライム市場  
証券コード 4674